

平成 31 年 度

学生募集要項

A O 入 試

平成 30 年 6 月



◎平成31年度 秋田県立大学 入学定員・募集人員

学 部 ・ 学 科		入学 定員	推 薦 入 試						A O 入 試	一 般 入 試		
			小 論 文 ・ 面 接 を 課 す		センタ－試験・ 面 接 を 課 す		センタ－ 試験のみ を 課 す	計		前期 日程	後期 日程	計
			推 薦 入学A	推 薦 入学B	推 薦 入学C	特別推薦 入学Ⅰ	特別推薦 入学Ⅱ					
システム科学技術学部		240	17	14	22	10	8	71	3	120	46	166
	機 械 工 学 科	60	4	4	5	—	—	13	3	34	10	44
	知能メカトロニクス学科	60	4	2	6	—	4	16	—	30	14	44
	情 報 工 学 科	40	3	2	3	—	4	12	—	18	10	28
	建築環境システム学科	40	2	2	4	6	—	14	—	20	6	26
	経営システム工学科	40	4	4	4	4	—	16	—	18	6	24
生 物 資 源 科 学 部		150	20	17	14	—	—	51	—	71	28	99
	応 用 生 物 科 学 科	40	2	4	6	—	—	12	—	20	8	28
	生 物 生 産 科 学 科	40	4	4	4	—	—	12	—	20	8	28
	生 物 環 境 科 学 科	30	2	3	4	—	—	9	—	15	6	21
	アグリビジネス学科	40	12	6	—	—	—	18	—	16	6	22
合 計		390	37	31	36	10	8	122	3	191	74	265

◎平成31年度 秋田県立大学 入学試験関係日程

	A O 入 試
出 願 期 間	平成30年 8月 6日(月)～8月10日(金) 受付時間：午前9時～午後5時
第1次合格者発表	平成30年 8月30日(木)
面 接 期 日	平成30年 9月 7日(金)
合格者発表	平成30年 9月19日(水)
入 学 手 続	平成30年10月 4日(木)・ 5日(金) 受付時間：午前9時～午後5時

	推薦入学A・推薦入学B	推薦入学C	特別推薦入学Ⅰ	特別推薦入学Ⅱ
出 願 期 間	平成30年11月1日(木)～ 7日(水) (土・日を除く)	平成31年1月4日(金)～ 10日(木) (土・日を除く)	平成30年12月10日(月)～14日(金) (土・日を除く)	
試 験 期 日	平成30年11月17日(土)	平成31年2月2日(土)	平成31年2月1日(金)	
合 格 者 発 表	平成30年11月24日(土)	平成30年2月13日(水)		
入 学 手 続	平成30年11月29日(木) 11月30日(金)	平成31年2月18日(月)・19日(火)		

	一般入試 (前期日程)	一般入試 (後期日程)
出 願 期 間	平成31年1月28日(月)～2月6日(水) (土・日を除く)	
試 験 期 日	平成31年2月25日(月)	平成31年3月12日(火)
合 格 者 発 表	平成31年3月 6日(水)	平成31年3月21日(木)
入 学 手 続	平成31年3月14日(木)・15日(金)	平成31年3月26日(火)・27日(水)

《参考》大学入試センター試験期日 平成31年1月19日(土)・20日(日)

目 次

1	アドミッション・ポリシー／カリキュラム・ポリシー／ディプロマ・ポリシー …	1
2	募集人員 ……………	2
3	出願資格 ……………	3
4	障害等のある入学志願者の事前相談について ……………	4
5	出願期間 ……………	4
6	選抜方法 ……………	6
 【平成31年度AO入試課題説明】 ……………		7～9
7	合格者発表 ……………	10
8	入学手続、初年度納付金等 ……………	10
9	入学試験成績の開示 ……………	14
10	個人情報取り扱いについて ……………	15
11	本荘キャンパスの案内図 ……………	16
12	出願書類の記入例及び記入上の注意 ……………	17

1 アドミッション・ポリシー／カリキュラム・ポリシー／ ディプロマ・ポリシー

アドミッション・ポリシー（入学受入の方針）

本学では次のような資質を持つ学生を受け入れます。

- ① 明確な目的とその実現のための意欲と学力を有すること
- ② 旺盛な知的好奇心を持っていること
- ③ 必要なコミュニケーション能力があること

※上記アドミッション・ポリシーは全学のもので、学部・学科の入学受入の方針（アドミッション・ポリシー）、求める人材等については以降の掲載により確認してください。

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

本学では、目的とする人材養成のため、教育課程編成・実施の方針を次のとおりとします。

- ① 現代の科学技術の幅広い要請に応えられるよう、問題発見能力と解決能力を兼ね備えた、研究者・技術者および教育者の育成を目指した教育を行います。
- ② 時代の変化に対応し、自ら能力を磨くことができるよう、情報処理能力、外国語能力、コミュニケーション能力など、不断の学習活動に必要な基礎的能力の訓練を重視し、自立した社会人の形成に資する教育を行います。

ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

本学では、下記の能力を身に付けた学生に学位を授与します。

- ① 時代の変化に対応できる問題解決能力を備えていること
- ② 自らを磨くことができる基礎的能力を備えていること

「入学受入の方針」（アドミッション・ポリシー）

システム科学技術学部では、各教育課程における専門技術とそれらに関連する知識を修得し、システム思考^{※注}により、時代の変化に応じた問題解決能力とものづくりの場への適用が可能な人材の育成を目指しています。

したがって、以下の条件を基準として学生を受け入れます。

- ① 高等学校等教育課程で定められた基礎学力を有すること
- ② 明確な目標とその実現のための意欲と思考力を有すること
- ③ 旺盛な知的好奇心をもっていること
- ④ 必要なコミュニケーション能力があること

※注) システム思考とは、分野ごとに高度に専門化・細分化してきたこれまでの工学に欠けていた「統合」の観点を取り入れて、専門技術の合理的調和を図る考え方をいいます。

求める人材

システム科学技術学部では「入学者受入の方針（アドミッション・ポリシー）」で示した資質に加え、学科ごとに次のような資質を持つ人を求めています。

機械工学科	・機械工学を理解するのに必要な数学と物理学の基礎学力を有する人 ・ものづくりに興味を持ち、仲間と協力して問題解決に取り組める人
知能メカトロニクス学科	・数学と物理学の基礎学力を有し、ものづくりに興味のある人 ・メカトロニクスの専門知識を学ぶ意欲があり、仲間と協力できる人
情報工学科	・情報工学に関心をもち、新しい技術やシステムを創造して社会に貢献する熱意をもった人 ・数学と物理学の基礎学力を有し、自ら好奇心をもって新しいことに取り組める人 ・自分の意見を明確に表現し、仲間と協力して問題解決に取り組める人
建築環境システム学科	・基礎学力と科学に関する総合的な基礎知識を有する人 ・建築、都市、環境に関する知的好奇心にあふれ、積極的に目標に向かって努力できる人
経営システム工学科	・経営工学を理解するのに必要な数学や科学の基礎学力を有する人 ・社会環境に関する広い視野を身につけ、社会に貢献する意欲のある人 ・リーダーにふさわしい想像力、積極性、協調性を有する人

高等学校等段階での修得が望ましい教科と内容

理 科	物理基礎、化学基礎に加え、少なくとも物理又は化学のいずれかを履修していることが望ましく、特に、機械工学科、知能メカトロニクス学科、情報工学科、建築環境システム学科の4学科では、物理を履修していることが望まれます。
数 学	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学Bに加え、数学Ⅲを履修していることが望まれます。
英 語	平易な英文を辞書なしで読み進められる語彙力・文法力を有していることが望まれます。
その他	他の教科・科目については、コミュニケーションのために十分な国語力と、技術者として、社会の持続的発展に資するための地理・歴史・公民に関する基礎的レベルの知識を有していることが望まれます。

本学のAO入試は、「ものづくりに愛着を持ち、特定の分野に秀でた才能を有する人材」を選抜することを目的として実施します。

このため、大学入試センター試験及び個別学力検査は課さず、受験生がじっくり時間をかけて作成した論文又は作品の審査とともに、コミュニケーション能力や目的意識の明確さなどを確認するための面接を重視し、選抜を行います。

平成31年度AO入試は、システム科学技術学部機械工学科において学生を募集します。

2 募集人員

募 集 学 部	募 集 学 科	募集人員
システム科学技術学部	機械工学科	3

3 出願資格

次の①から③までのいずれかに該当する者。

- ① 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び平成31年3月卒業見込みの者（学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第104条第3項の規定により、学年の途中において、学期の区分に従い、高等学校の卒業を認められる者も含む）
- ② 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び平成31年3月修了見込みの者
- ③ 学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者のうち、次の各項目のいずれかに該当する者及び平成31年3月31日までにこれに該当する見込みの者
 - ア 外国において学校教育における12年の課程修了をした者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
 - イ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
 - ウ 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限り）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
 - エ 文部科学大臣の指定した者（昭和23年5月31日文部省告示第47号）
 - オ 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同令附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）による大学入学資格検定に合格した者を含む）
 - カ 本学の定めるところにより、個別の入学資格審査をもって、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると本学において認めた者で、18歳に達したもの（上記カにより出願資格を得ようとする者は、本学の入学資格審査を受け認定を得る必要があります。詳細については、下記へお問い合わせください。）

秋田県立大学教育本部アドミッションチーム

〒010-0195 秋田県秋田市下新城中野字街道端西241-438

TEL 018-872-1535

- ◇ 志願の対象となる学科は、システム科学技術学部機械工学科です。
- ◇ AO入試は全国から出願できます。また、平成31年3月に卒業見込みの者だけでなく既卒者も対象とします。
- ◇ 特別推薦入学Ⅰ又は特別推薦入学Ⅱのいずれか、及び一般入試（前期日程・後期日程）にも出願することができます。
- ◇ 秋田県内の高等学校を平成31年3月に卒業見込みの者に限り、推薦入学A又は推薦入学B、及び推薦入学Cにも出願することができます。

◎併願上の注意

- ① 本学のＡＯ入試に合格し入学手続を完了した者は、本学及び他の国公立大学（ただし、独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。以下同じ。）が実施する一般入試前期日程試験、中期日程試験及び後期日程試験を受験しても、その大学の合格者とはなりません。
※ 独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部については、公立大学協会ホームページ（<http://www.kodaikyo.org>）を確認してください。
- ② 入学を辞退する場合は、平成３１年２月１３日（水）までに秋田県立大学長あてに「入学辞退届」を提出してください。「入学辞退届」を提出しない場合には、前記①と同様に本学及び他の国公立大学を受験しても合格者とはなりません。

４ 障害等のある入学志願者の事前相談について

本学に入学を希望する者で、障害（学校教育法施行令（昭和２８年政令第３４０号）第２２条の３に定める障害の程度）や疾病・負傷等により、受験上及び修学上の特別な配慮を希望する場合は、平成３０年７月２７日（金）までに本学教育本部（本荘キャンパス）学生・アドミッションチームまで申し出てください。

５ 出願期間

（１）出願期間

平成３０年８月６日（月）～８月１０日（金）
（受付時間：午前９時～午後５時）

（２）出願方法

- ① 「論文」又は「作品（内容説明書を含む）」のいずれかと、入学志願票等出願書類を所定の出願用封筒に入れて提出してください。
- ② 出願は、書留速達による郵送又は持参により行ってください。
- ③ 郵送の場合も、出願期間最終日の午後５時までに必ず到着するようにしてください。
- ④ 模型等で封筒に入らない場合は、破損しないように梱包し、別便で送付又は持参しても構いません。模型等を別便で送付する場合も、出願期間最終日の午後５時までに到着するようにしてください。
送付又は持参が困難な場合は、本学教育本部（本荘キャンパス）まで相談してください。

（３）出 願 先

秋田県立大学教育本部（本荘キャンパス）学生・アドミッションチーム
〒015-0055 秋田県由利本荘市土谷字海老ノ口84-4
TEL 0184-27-2100 FAX 0184-27-2180

（４）出願書類

巻末の「出願書類の記入例及び記入上の注意」を参照の上、必要事項を漏れなく記入してください。

A 票 入学志願票（原票）	連絡先等の電話番号は携帯電話等の番号を記入しても差し支えありません。
B 票 入学志願票（電算処理票）	
C 票 受験票	縦4 cm×横3 cmの写真（正面上半身、無帽、背景なしで出願前3か月以内に撮影したもの）の裏面に志望学科、氏名を記入し、全面を糊付けの上、写真貼付欄にはがれないように貼付してください。
D 票 写真票	
E 票 住所票	入学手続等の連絡を行うため使用します。郵便番号、住所、氏名を記入してください。
F 票 入学検定料振込用紙	① 入学検定料17,000円を、F票（入学検定料振込用紙）を使用し、金融機関（郵便局・ゆうちょ銀行を除く）で振り込んでください。また、ATM（現金自動預払機）での振り込みはできません。 ② 振込手数料は志願者本人の負担となります。 ③ 入学検定料は、平成30年8月1日(水)～8月10日(金)〔午後3時〕の期間に振り込んでください。 ④ 振り込み後、収納印を受けたF-3票（検定料納付証明書）を〔B票 入学志願票（電算処理票）〕の所定の欄に貼付してください。
出願資格証明書	高等学校等の卒業又は修了（見込）証明書、高等学校卒業程度認定試験合格証明書その他の出願資格を証明する書類（写し不可）を提出してください。
調査書	文部科学省所定の様式により高等学校長が作成し、厳封したものを提出してください。
G 票 志望理由書	志望理由、自己PRなどを含めて機械工学科を目指す自らの思いについて600字程度で自由に記述してください。
H 票 受験票送付用封筒	「受験票」を送付するための封筒として使用します。郵便番号、住所、氏名を明記し、362円分の切手を貼付してください。
I 票 出願用封筒	① 上記書類を入れて提出してください。 ② 「志願者欄」に必要事項を記入してください。

(5) 出願上の注意事項

- ① 出願書類に、次のような不備のあるものは受理しないことがあるので、十分確認してください。
 - ア 出願書類がそろっていないもの
 - イ 記入漏れ、誤記のあるもの
- ② 出願書類の記入にあたっては、巻末の「出願書類の記入例及び記入上の注意」を参照し、黒色のボールペン等を用い楷書で正しく明確に記入してください。
- ③ 出願受付後の出願事項の変更は認めません。ただし、氏名、住所及び電話番号に変更があった場合は、前記出願先までご連絡ください。
- ④ 受験票は、出願期間終了後に本人あて送付します。平成30年8月28日(火)までに受験票が届かない場合は、前記出願先までお問い合わせください。

- ⑤ 提出された論文又は作品が受験者本人のものでないことが判明した場合は、合格又は入学許可を取り消します。
- ⑥ 入学を許可した後であっても、提出された出願書類の記載と相違する事実が判明した場合は、入学許可を取り消すことがあります。
- ⑦ 一度受理した出願書類は返却しません。

(6) 入学検定料の返還請求について

既納の入学検定料は、次の場合に限り返還します。

返 還 事 由	返 還 額
(ア) 第1次選抜で不合格となった場合 ◎入学検定料の返還請求手続については、第1次選抜の結果とともにお知らせします。	13,000円
(イ) 入学検定料を振り込んだが、出願しなかった場合	17,000円
(ウ) 入学検定料を誤って二重に振り込んだ場合	17,000円

※実際の返還額は、振込手数料を差し引いた額となります。

本学ホームページから「入学検定料返還請求書」をダウンロードし、必要事項を記入の上、払込済みの検定料納付証明書を同封して次の送付先へ請求してください。

送付先：〒015-0055

秋田県由利本荘市土谷字海老ノ口84-4

秋田県立大学教育本部（本荘キャンパス）学生・アドミッションチーム

送付期限：平成31年2月26日（火）

注意）封筒には「入学検定料返還請求書在中」と朱書きしてください。

6 選抜方法

入学者の選抜は、次の2段階の選抜により、総合的・多面的に評価して判定します。

(1) 第1次選抜

① 出 願

「論文」又は「作品（内容説明書を含む）」のいずれかを、入学志願票等の出願書類と一緒に出願期間内に提出してください。提出された論文又は作品により第1次選抜を行います。

② 論文又は作品の満たすべき条件

7～9ページに掲載した「平成31年度AO入試課題説明」に基づき作成してください。

【平成31年度AO入試課題説明】

「論文」又は「作品（内容説明書を含む）」のいずれかを提出してください。

1 論 文

次に示す指定課題1～9から1課題を選択し、2,000字から4,000字程度の論文を作成し、提出してください。

2 作 品

模型、設計（企画図などを含む）の作品と1,000字程度の内容説明書（工夫した点、苦労した点）を提出してください。提出するものは、過去に作ったもの、あるいはそれを手直ししたものも認めます。

注意事項

- 論文や作品の内容説明書には、図表やグラフを含んでも構いません。ただし、他の文献の図表等を使った場合には、その出典を明記してください。
- 作品に添付する内容説明書は、論旨が通っていれば、字数は多くても少なくても構いません。
- ワードプロソフトを用いて作成した論文の提出も認めます。

学科指定課題

課題1 《自動車の軽量化》

CO₂排出量の低減を目的とした燃費向上策として、さまざまな自動車部品にプラスチックが応用され、軽量化が図られている。現在の自動車においてプラスチック部品の割合はどの程度であるか。また、実際にどのような部品がプラスチック化されているか、例を挙げて述べ、特にエンジンまわりのプラスチック部品についてはどのような性能が求められるかを説明しなさい。さらに今後、環境に適合した新しい自動車部品の材料として、どのような性能・特徴などが必要なのか、自分の考えを述べなさい。各々の説明は必要であれば写真や図などを添えなさい。

課題2 《新しい材料の開発》

新しい材料の開発が、新しい機械の製作や科学技術の飛躍的な進歩に貢献することがあります。そこで、新しい機械を製作するために必要な新しい材料を提案し、その材料が持つべき特性と、その材料が新しい機械を製作する上でどのように役に立つのか、その材料開発にはどのような課題があるのかを説明しなさい。

課題3 《新しい材料の加工》

航空宇宙や自動車などの次世代産業を支えるものづくりには、新しい材料の開発ならびに、その材料を加工する方法がとても重要になる。そこで、各産業で必要とされる材料の特性などをいくつか挙げ、その材料の特性に合わせて材料を加工するために必要な製作方法を具体的に説明しなさい。そして、加工するときどのような課題や問題が発生するかも示しなさい。

課題4 《磁石と磁性材料》

磁石や磁性材料は、現代社会を支える重要な材料の1つです。物質は、磁石に強く引き寄せられる物（強磁性体）、引き寄せられるが、その力が非常に弱い物（常磁性体）、そして力は非常に弱い、反発する物（反磁性体）の3つに大きく分類できます。適切な実験方法を考案し、私たちの身のまわりの物の中から常磁性体と反磁性体を考案した実験方法を用いて探しなさい。また用いた実験の方法について、工夫した点を中心に、詳細に説明しなさい。

課題5 《宇宙ステーションでの生活》

人類は地球を飛び出し、宇宙でも生活を始めるようになってきました。宇宙ステーションは自由落下の状態にあるため、内部は無重力環境となっています。このような環境は地上とは大きく異なり、様々な配慮が必要となります。無重力下にある液体について、予想される現象を挙げ、詳しく考察しなさい。

課題6 《大気の仕事》

深い皿に少量の水を入れラップで蓋をし、電子レンジで加熱後、取り出すとラップ表面が時間と共に凹む。この凹みを最大にする方法を挙げ、詳しく説明しなさい。説明には、時間経過の判読できる実験写真を添付すること。

課題7 《固有値と固有ベクトル》

自然科学の分野で非常に重要な数学的概念である固有値と固有ベクトルについて考察する。いま、 x 、 y に関する次の連立1次方程式を考える。

$$\left. \begin{array}{l} ax+by=kx \\ bx+cy=ky \end{array} \right\} \dots\dots\dots (1)$$

ただし、 a 、 b 、 c は実数の定数で、 $b \neq 0$ とする。

- (a) この連立1次方程式が $x=y=0$ 以外の解をもつための条件を a 、 b 、 c 、 k の関係式で示しなさい。
- (b) (a)で求めた関係式は、 k の異なる2つの実数値について成り立つことを証明しなさい。
- (c) (b)の k の実数値を k_1 、 k_2 とすると、式(1)の $x=y=0$ 以外の任意の1組の解を x_i 、 y_i ($i=1, 2$) とすると、ベクトル (x_1, y_1) とベクトル (x_2, y_2) は垂直になることをベクトルの垂直の関係式を用いて証明しなさい。
- (d) 上述の k を固有値、それに対応するベクトルを固有ベクトルという。以上の議論では行列の概念を用いなかったが、行列の1次変換の概念と行列式の概念を用いて、固有値と固有ベクトルを論じなさい。

課題8 《ものづくりの科学》

ものづくりでは様々な物理・化学現象を応用しています。

- (1) あなたが今までに製作した「もの」とその製作過程を紹介しなさい。紹介に必要な図表などを添えなさい。
- (2) 製作過程で、どのような物理・化学現象を応用したのか、また、現象を応用するにあたって上手に作るためにどのような工夫をしたのかを説明しなさい。説明に必要な図表などを添えなさい。

課題9 《物質の第4の状態》

私たちの身近にある蛍光灯やプラズマディスプレイなどは、物質のプラズマ状態の性質を利用したものです。この物質の第4の状態といわれる「プラズマ」とはどのようなものなのかを調べ、プラズマのどのような性質を利用しているのか、自分の言葉でわかりやすく説明しなさい。また、プラズマの中に、プラズマ以外の状態（固体や液体や気体）にある、性質の異なる様々な物質（例えば、金属やプラスチックなど）を置いたとすると、その物質とプラズマとの間でどのようなことが起こるか、自ら調べた「プラズマ」の性質に基づいて自分が予想する現象について、詳しく説明しなさい。

③ 第1次選抜合格者発表

- ア 発表期日 平成30年8月30日(木) (午後1時予定)
- イ 発表方法 合格者の受験番号を本荘キャンパス正面玄関に掲示するとともに、合格者には第1次選抜合格通知書を送付します。
- ウ インターネットによる合格者受験番号の提供
秋田県立大学のホームページに第1次選抜合格者受験番号を掲載します。
アドレス <http://www.akita-pu.ac.jp/>
※ インターネットによる情報提供は、受験者の便宜を図るために行います。正式の合格者発表は上記イにより行いますので、必ず確認してください。

(2) 第2次選抜

第1次選抜の合格者に対し面接を行い、最終合格者を決定します。

- ① 面接期日 平成30年9月7日(金)
- ② 面接会場 秋田県立大学本荘キャンパス
秋田県由利本荘市土谷字海老ノ口84-4
TEL 0184-27-2100 FAX 0184-27-2180
- ③ 面接の内容 第1次選抜合格者に、第1次選抜合格通知と併せ、面接時間、面接の内容等をお知らせします。
面接は、提出された論文又は作品に関する15分以内のプレゼンテーション（プロジェクター、パソコンなどの機器類の使用も可）の内容についての質疑応答、また数学及び物理についての基礎的な知識を問う試問も含まれます。（試問の内容は調査書の履習内容に基づきます。）

(3) 受験上の注意

- ① 受験者は、面接開始30分前までに決められた面接控室に入室し、着席してください。
- ② 面接開始時に不在であった場合には、欠席したものとして取り扱います。

- ③ 当日は受験票を必ず持参してください。
- ④ 当日に受験票を忘れた者は、速やかに係員に申し出て仮受験票の交付を受けてください。また、受験票は、入学手続の際に必要なため、試験後も大切に保管してください。
- ⑤ 携帯電話等の電子機器類は、事前に必ず電源を切ってください。
- ⑥ 面接会場及びその周辺で合格電報、レタックス等の受付を行う者がいても、本学とは一切関係がなく、トラブル等が生じても責任を負えないので注意してください。
- ⑦ 健康上の問題が生じた場合に備え、健康保険証を持参してください。
- ⑧ その他必要な事項が生じた場合には、受験票送付の際に併せて通知します。
- ⑨ 提出された作品は受験者の希望に基づき後日手渡し又は発送により返却します。

7 合格者発表

(1) 発表期日

平成30年9月19日(水) (午後1時予定)

(2) 発表方法

合格者の受験番号を本荘キャンパス正面玄関に掲示するとともに、合格者には合格通知書を送付します。

※ 電話等による問い合わせには一切応じません。

(3) インターネットによる合格者受験番号の提供

秋田県立大学のホームページに合格者受験番号を掲載します。

アドレス <http://www.akita-pu.ac.jp/>

※ インターネットによる情報提供は、受験者の便宜を図るために行います。正式の合格者発表は上記(2)により行いますので、必ず確認してください。

8 入学手続、初年度納付金等

(1) 入学手続

① 入学手続期間

平成30年10月4日(木)・10月5日(金)

(受付時間：午前9時～午後5時)

② 入学手続場所

秋田県立大学本荘キャンパス

秋田県由利本荘市土谷字海老ノ口84-4

TEL 0184-27-2100 FAX 0184-27-2180

③ 入学手続方法

入学手続の詳細及び必要な書類は、合格通知の際にお知らせします。

入学手続に必要な書類の提出は、原則として「本人持参」により行ってください。その際、「平成31年度秋田県立大学入学試験受験票」を必ず持参し、提示してください。

ただし、やむを得ない事情により「本人持参」ができない場合は、郵送等によることも可能です。詳細については合格通知の際にお知らせします。

(2) 初年度納付金等について

① 入学料

ア 金 額	秋田県内の者	282,000円
	上記以外の者	423,000円

(注)「秋田県内の者」とは、次のいずれかに該当する者をいいます。

- 一 入学の日の1年前から引き続き秋田県内に住所を有する者
- 二 配偶者又は1親等の親族が入学の日の1年前から引き続き秋田県内に住所を有する者
- 三 前2号に掲げる者のほか、これらの者に準ずる者として理事長が認めた者

イ 納付方法 合格通知書に同封する入学手続書類に従って、入学手続の際に納付してください。

なお、本学が認める特別な理由がある場合を除き、納付された入学料は返還しません。

② 授業料

ア 金 額	年額	535,800円
-------	----	----------

なお、在学中に授業料が改定された場合は、改定時から新授業料が適用されます。

イ 納付方法 前期（納付期限4月30日）、後期（同10月31日）の2回に分けて納付してください。

(3) 入学前の指導

入学手続者に対して、課題添削・スクーリング等入学前指導を実施します。科目・日程など詳細については、入学手続者に別途お知らせいたします。

(4) その他

① 授業料の減免

家庭の経済的事情又は不測の災害などのため、授業料の納付が著しく困難な学生に対する授業料の減免制度があります。

② 奨学金

ア 独立行政法人日本学生支援機構が貸与する奨学金として、「第一種奨学金（無利子貸与）」と「第二種奨学金（有利子貸与）」があります。

第一種奨学金及び第二種奨学金の平成30年度貸与月額はおおのとおりにあります。

種 類	区 分	貸 与 月 額
第一種奨学金 (無利子貸与)	自 宅 通 学 者	30,000円又は45,000円から選択
	自宅外通学者	30,000円又は51,000円から選択
第二種奨学金 (有利子貸与)	—	30,000円、50,000円、80,000円、 100,000円又は120,000円から選択

イ この他にも、地方公共団体等の奨学金制度があります。

③ 特待生制度について

本学には、成績優秀者に対して奨学金を給付する次の2つの特待生制度があります。

ア 入学生特待生

平成31年度入学生選抜試験において、次の要件を満たすことにより、入学生特待生対象者となります。

認 定 要 件	秋田県内の高等学校等を卒業（修了）した者で、次の①から③のいずれかの要件を満たす者 ① 推薦入学C、特別推薦入学Iにより選抜された入学者で、大学入試センター試験得点率が、本学で定める配点の70%以上である者 ② AO入試、推薦入学A・B、特別推薦入学IIにより選抜された入学者で、大学入試センター試験得点率が、本学で定める配点の70%以上であることを証明する「成績通知書」を提出した者 ③ 一般入試により選抜された入学者で、大学入試センター試験得点率が、本学で定める配点の75%以上である者（ただし、アグリビジネス学科の入学者は大学入試センター試験得点率が、本学で定める配点の75%以上であることを証明する「成績通知書」を提出した者）
特待生の期間	決定された年度から4年間（当該年度の学業成績結果により、翌年度の奨学金の支給が停止される場合がある）
付与する特典	認定証及び奨学金（年間授業料相当額）
定 員	なし（認定要件を満たした者すべて）

※ AO入試、推薦入学A・B、特別推薦入学II、一般入試（アグリビジネス学科のみ）により選別された入学者で入学生特待生を希望するものは、本学が指定する大学入試センター試験の利用教科・科目の受験が必須となります。また、大学入試センター試験の出願時に成績通知手数料（800円）を検定料と併せて払い込む必要があります。

※ 本学が指定する大学入試センター試験の利用教科・科目名については、次項を参照してください。

【大学入試センター試験の利用教科・科目名及び配点】

ここでは、機械工学科に該当する部分を抜粋して記載しています。

教 科	利 用 科 目	配 点
国 語	国語	1 0 0
地理歴史・公民	世界史A、世界史B、日本史A、日本史B、 地理A、地理B、現代社会、倫理、政治・経済、 倫理・政治・経済から1科目	1 0 0
数 学	数学Ⅰ・数学Aと、 数学Ⅱ・数学B、* ₁ 簿記・会計、情報関係基礎から 1科目	2 0 0
理 科	物理と、 物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎から2科目 または 物理と、 化学、生物、地学から1科目	2 0 0 ^{*2}
外 国 語	英語（リスニングも含む）	2 0 0 ^{*3}
5 教 科	7科目 または 8科目	8 0 0

*1 簿記・会計、情報関係基礎を選択する者は当該単位の取得を条件とします。

*2 理科の配点については、物理100点、物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎から2科目で計100点

*3 外国語「英語」の配点は筆記160点、リスニング40点とします。ただし、大学入試センターがリスニングの免除を認めた場合は、筆記の配点を200点とします。

イ 在学学生特待生

本学在学学生（１年生を除く）を対象とし、前年度の通期学業成績が優秀である者の中から選考し認定を受けた者を『在学学生特待生』と称し、半期授業料に相当する奨学金を給付します。

④ 後援会について

本学には、学生の各種活動を経済的に支援するための後援会があります。

後援会は、学生の父母・保証人を会員として組織している団体です。主な活動としては、後援会加入学生を対象として「学生教育研究災害傷害保険」及び「学研災付帯賠償責任保険」に一括加入しているほか、クラブ活動や就職講座の受講等への各種支援をしています。

後援会費については４年間で５０，０００円です。なお、入学手続関係書類に後援会の入会案内及び会費納入方法のお知らせを同封しますので、趣旨をご理解の上、入学手続きと併せ、入会の手続きをお願いします。

⑤ その他

下宿・アパートについては、入学手続の際に担当者へお問い合わせください。

９ 入学試験成績の開示

当該入学者選抜試験に係る個人情報の開示は、本人に限って、次により口頭で請求し、その場で閲覧することができます。ただし、「公立大学法人秋田県立大学入試情報公開規程」に基づき、合格者が１０名に満たない学科については不合格者のみの開示となるので注意してください。

(1) 請求の方法

本人が、開示場所（秋田県立大学教育本部（本荘キャンパス））に出向いて請求してください。

郵送による請求はできません。

また、請求者が本人であることを確認するため、必ず本学の受験票を持参してください。

(2) 開示する情報

① 得点（科目等別得点、総得点）

② 評価（ランクにて表示）

(3) 開示する期間

合格者発表の日から１か月間（土・日・祝日を除く）

(4) 入学試験成績の開示についての問い合わせ先

秋田県立大学教育本部（本荘キャンパス）

〒015-0055 秋田県由利本荘市土谷字海老ノ口 84-4

TEL 0184-27-2100 FAX 0184-27-2180

10 個人情報の取扱いについて

個人情報については、「公立大学法人秋田県立大学個人情報保護規程」に基づいて以下のとおり取り扱います。

- (1) 出願にあたって知り得た個人情報は、次の業務を行うために利用します。
 - ① 入学者選抜（出願処理、選抜実施）
 - ② 合格者発表
 - ③ 入学手続
 - ④ 次年度以降の学生募集
- (2) 入学者選抜に用いた試験成績は、今後の入学者選抜方法の検討資料作成のために利用します。
- (3) 国公立大学の一般入試における合格者決定業務を円滑に行うため、受験者の氏名及び大学入試センター試験の受験番号に、合否及び入学手続等に関する個人情報を付して、大学入試センター及び併願先の国公立大学に提供します。
- (4) 出願にあたって知り得た情報は、入学者についてのみ次の業務を行うために利用します。
 - ① 教務関係（学籍、修学指導等）
 - ② 学生支援関係（奨学金申請等）
 - ③ 授業料徴収
- (5) 本学に出願した者は、上記の記載内容に同意したものとみなします。

本荘キャンパスの案内図

秋田県立大学本荘キャンパス

〒015-0055 秋田県由利本荘市土谷字海

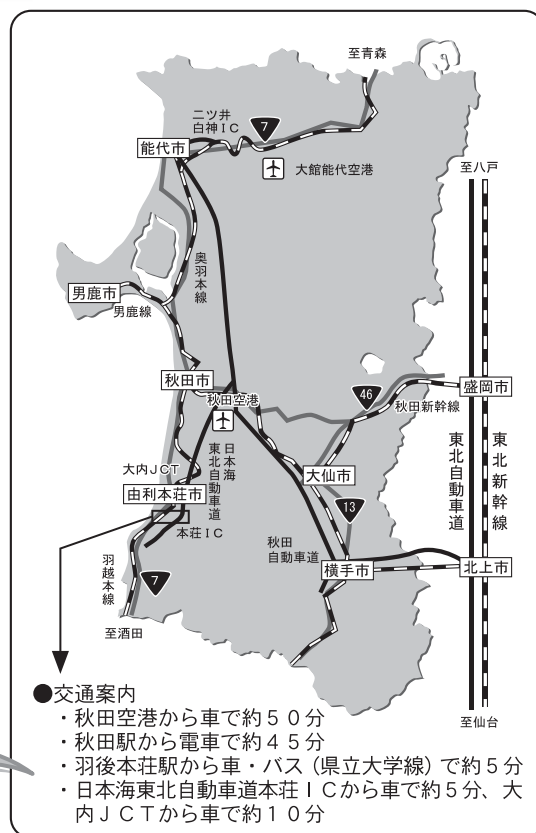
老ノ口84-4

TEL 0184-27-2100

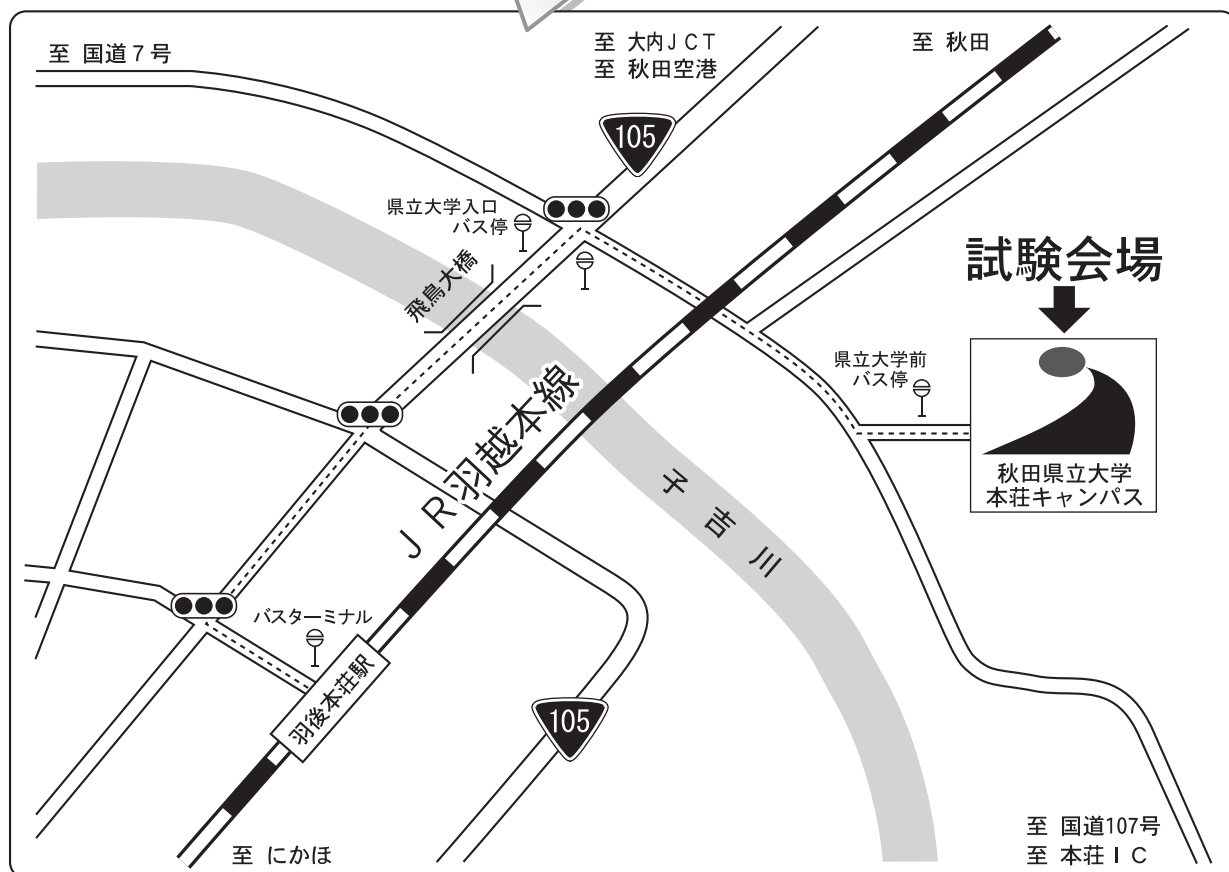
本荘キャンパスまでの交通

鉄道利用：J R 羽越本線「羽後本荘駅」にて下車後、徒歩約30分

バス利用：J R 羽越本線「羽後本荘駅」からバスで中央線、黒淵線を利用して、バス停「県立大学入口」にて下車後、徒歩約10分



拡大図



12 出願書類の記入例及び記入上の注意

(黒色ボールペン又は黒色インクで記入)

(原 票) A 票

平成 3 1 年度 秋田県立大学 【AO入試】 入学志願票

※ 何も記入しないでください。

志望学部	1	1 : システム科学技術学部
志望学科	1	1 : 機械工学科

志 願 者	氏 名	(カナ) ツ チ ヤ タ ロ ウ	(漢字) 姓 土 谷 名 太 郎
	性別・生年 月日・国籍	1 ①: 男 2: 女 4 3: 昭和 ④: 平成 1 3 年 0 1 月 0 5 日生 1 ①: 日本 2: 外国	
	住 所	〒 0 1 5 (都道府県名) (郡・市名) (区・町村名) (町・丁目番地・棟・号名) (方) - 0 0 5 5 秋田県由利本荘市海老ノ口84-4 県大アパートA-101号	
	電話番号	0 1 8 4 - 2 7 - 2 0 0 0 左詰、局番の間はハイフン“－”を記入	

保 護 者	氏 名 等	土 谷 学 (フリガナ ツ チ ヤ マ ナ ブ) (本人との続柄 父)
	住 所	〒 0 1 0 (都道府県名) (郡・市名) (区・町村名) (町・丁目番地・棟・号名) (方) - 0 1 9 5 秋田県秋田市下新城町241番438号
	電話番号	0 1 8 - 8 7 2 - 1 5 0 0 志願者と同じ場合は記入不要

学 校 名 等	【高等学校等コード】 ※ 	【学 校 名】 私 立 秋田学院高等学校	【学校所在地】 秋田 都道府県
---------	---	--	---

出 願 資 格	高等学校又は中等教育学校卒業生 (卒業見込者を含む)	【高等学校等卒業生以外】	
	【課程】 ①: 全日制 2: 定時制 3: 通信制 4: その他 1	【学科】 ①: 普通科 5: 商業系学科 2: 理数科 6: 水産系学科 3: 農業系学科 7: 総合学科 4: 工業系学科 8: 情報系学科 9: その他 1	1: 外国の学校等 2: 在外教育施設 3: 専修学校高等課程修了者 4: 文部科学大臣が指定した者 5: 高等学校卒業程度認定試験合格者 6: 高専3年修了 7: その他 ()
	【卒業等】 ③: 昭和 ④: 平成 3 1 年 3 月 1 ①: 卒業見込 2: 卒業		

※印の欄には記入しないでください。

該当者は該当番号を○で囲み、□内に該当番号を記入して下さい。

B 票

何も記入しないでください。

志望学部	1	1 : システム科学技術学部
志望学科	1	1 : 機械工学科

志願者	氏名	(カナ) ツチヤ										タロウ													
	(漢字) 姓 土谷										名 太郎														
者	性別・生年月日・国籍	1		①: 男 2: 女		4		3: 昭和 ④: 平成		13		年		01		月		05		日生		1		①: 日本 2: 外国	
	電話番号	0184-27-2000														左詰、局番の間はハイフン“－”を記入									
保護者	保護者電話番号	018-872-1500														志願者と同じ場合は記入不要									

私立秋田学院高等学校

出願資格

【課程】 ①：全日制
2：定時制
3：通信制
4：その他

【学科】 ①：普通科
②：理数科
③：農業系学科
④：工業系学科
⑤：商業系学科
⑥：水産系学科
⑦：総合学科
⑧：情報系学科
⑨：その他

【卒業等】

4 3：昭和
4 4：平成 31 年 3 月 1 1：卒業見込
2：卒業

- 1：外国の学校等
- 2：在外教育施設
- 3：専修学校高等課程修了者
- 4：文部科学大臣が指定した者
- 5：高等学校卒業程度認定試験合格者
- 6：高専3年修了
- 7：その他（ ）

F-3 票
(検定料納付証明書)
貼付欄

※金融機関の収納印があることを必ず確認のうえ、はがれないようにしっかり貼り付けてください。

必ず、F-3
票（検定料納
付証明書）を
貼付してくだ
さい。

出願者においては記入不要です。

B票（電算処理票）は、□欄についてA票（原票）から転記し、照合のうえ、両方とも提出してください。
※印の欄には記入しないでください。

平成31年度 秋田県立大学 入学試験 受験票〔AO入試〕

C 票

何も記入しないでください。

	受験番号	※
志望学部 学 科	システム科学技術学部 機械工学科	
フリガナ	ツ チ ヤ タ ロ ウ	
氏 名	土 谷 太 郎 (男・女)	

写真貼付欄

〈 注 意 〉
正面上半身、無帽、
背景なしで出願
前3か月以内に
撮影したもの
縦4cm×横3cm

貼付する写真は、モノクロ、カラーのどちらでもかまいません。写真の裏面に氏名・志望学科を記入し、はがれないように、しっかりと貼りつけてください。

- 注意事項
- 1 受験票は、試験当日必ず携帯してください。
 - 2 受験票は、入学手続の際に必要となるので、大切に保管してください。
 - 3 ※印の欄には記入しないでください。

平成31年度 秋田県立大学 入学試験 写真票〔AO入試〕

D 票

	受験番号	※
志望学部 学 科	システム科学技術学部 機械工学科	
フリガナ	ツ チ ヤ タ ロ ウ	
氏 名	土 谷 太 郎 (男・女)	

写真貼付欄

〈 注 意 〉
正面上半身、無帽、
背景なしで出願
前3か月以内に
撮影したもの
縦4cm×横3cm

上記受験票と同様に記入してください。

- 注意事項 ※印の欄には記入しないでください。

E 票

平成31年度 秋田県立大学 住所票（合格通知等送付用）

〔AO入試〕

下記の用紙は、合格通知等（入学手続等を含む）の通信用として使用するのので、あなたの住所（合格通知受信場所）、氏名及び郵便番号を正確に記入の上、忘れずに同封してください。

送付先	015-0055	※
住所	秋田県由利本荘市海老ノ口84-4 県大アパートA-101号	
氏名	土谷 太郎 様	

何も記入しないでください。

A票の「志願者住所」と同じ住所を正確に記入してください。

送付先	015-0055	※
住所	秋田県由利本荘市海老ノ口84-4 県大アパートA-101号	
氏名	土谷 太郎 様	

注意事項

- 1 送付先の住所・氏名は2か所とも同一のものを記入してください。
- 2 ※印の欄には記入しないでください。
- 3 この住所票はシール式になっているので、はがれないように取り扱ってください。

志望学科	機械工学科（AO入試）	氏名	土谷 太郎
------	-------------	----	-------

● 附属資料 ●

次の各書類が同封してありますので確認してください。

A 票	入学志願票（原票）
B 票	入学志願票（電算処理票）
C 票	受 験 票
D 票	写 真 票
E 票	住 所 票
F 票	入学検定料振込用紙
G 票	志望理由書
H 票	受験票送付用封筒
I 票	出願用封筒

出願、受験、その他の問い合わせ先

〒015-0055

秋田県由利本荘市土谷字海老ノ口84-4

秋田県立大学 教育本部（本荘キャンパス）

TEL 0184-27-2100

FAX 0184-27-2180

* ホームページアドレス *

<http://www.akita-pu.ac.jp/>